

# 金沢市立泉中学校

【はじめに】

本校は金沢市の中心部に位置し、昭和22年4月に開校した。全校生徒は426名、教職員は37名である。

校区には、歴史ある寺町寺院群、にし茶屋街などの伝統的まちなみ、金沢仏壇、水引、九谷焼、和菓子など金沢の伝統文化が息づく野町校区、文教地区の弥生校区、更に近世の入り組んだ道筋が残る中村町校区があり、金沢に見られるさまざまな特色を併せ持った地域である。

2010年ユネスコスクールの認定を受け、環境教育や伝統文化教育、国際理解教育を主要テーマとして持続発展教育の実践に取り組んでいる。

## 「ともに生きる」

～「関わり」、「つながり」を学ぶ3年間のとりくみ～

### 1 ユネスコスクールとしての取組

泉中学校では総合的な学習の時間をIT（泉タイム）と呼称し、3年間で6つの学習テーマに分けて学習している。「身のまわりの自然」に始まり、「地域」、「日本」、「世界」へと学習範囲を広げながら、自身との関わりを見つめ、「自分を取りまく社会全体」に関するテーマ学習へと続く、一貫した流れで実践している。ITの実施にあたっては、体験学習や探究活動を積極的に取り入れ、自然環境や社会との「関わり」「つながり」を学び、持続発展可能な社会の担い手の育成を目指している。

#### 1 年

##### I 期＜自然とともに＞

- ・いしかわ動物園訪問
- ・テーマ別校外学習
- ・まとめ、発表

##### II 期＜金沢を知ろう＞

- ・伝統芸能・文化の体験、発表
- ・金沢テーマ別調査プラン作成

#### 2 年

##### II 期＜金沢を知ろう＞

- ・金沢自主研修
- ・金沢の文化的景観

##### III 期＜人とともに＞

- ・キャリア体験
- ・まとめ、発表

##### IV 期＜日本を知ろう＞

- ・関西テーマ別調査プラン作成

#### 3 年

##### IV 期＜日本を知ろう＞

- ・修学旅行

##### V 期＜世界を知ろう＞

- ・講演会
- ・テーマ別研究、発表

##### VI 期＜社会とともに＞

- ・テーマ別研究、発表

#### I 期 自然とともに

校外学習として、自然体験学習として「いしかわ動物園」を訪問し、環境やエコ活動について考える機会を設けた。その後、現代の自然環境について「水」「エネルギー」「ゴミ」「食べ物」の4つのテーマ別に分かれ、自分の課題を設定した。この課題解決に向け、校外学習として関連施設を訪問し、施設等の見学、職員へのインタビューを行った。生徒は環境に関する問題解決に向けた実際的な取組やその方向性を深く理解することができた。学習の成果は、パネルにまとめて文化祭で展示した。



#### II 期 金沢を知ろう

1年では、「金沢を知ろう」のテーマで、「よりよい金沢」を語るができるように、「まちなみ・歴史」「伝統芸能」「伝統工芸」「食文化」の4つのテーマで調べ学習を行った。「まちなみ・歴史」については、観光ガイド「まいどさん」から金沢のまちなみ、用水、3文豪などについて、前田土佐守家資料館館長から前田家に関する歴史についてそれぞれ話をお聞きし、金沢についての理解を深めた。「伝統芸能」については、「加賀鳶」「素囃子」を体験・見学し、それぞれの芸能についての理解を深めることができた。

2年では、伝統工芸体験を取り入れた市内班別自主研修を行った。生徒自らテーマに沿った課題解決のための見学地を決定し、班ごとに協力して計画を立て、インタビューや見学を実施した。この研修の



成果をスライドにまとめ、発表会を行った。これにより金沢の文化的景観や伝統工芸などを知ることができ、金沢の再発見につながった。



### Ⅲ期 人とともに

キャリア体験の事前学習として社会で活躍する職業人を招いての講演会を行い、地域密着型や世界で幅広く活躍する職業人の考えに触れることで、職業観や勤労観を高めた。キャリア体験当日はとまどいながらも、地域で働く人々とふれあい、地域社会の営みについて知ることができた。また、自分の進路を考える上でよい機会となった。学習成果はレポートを作成し冊子にまとめた。文化祭ではレポート展示とスライドでの発表会を行った。



### Ⅳ期 日本を知ろう

2年では金沢の文化的景観や環境保全政策について学ぶとともに、視野を広げ、日本の伝統を色濃く残す京都について学習した。そして、修学旅行での見学候補地の調査を行った。また、金沢との比較という観点から、京都で、特に調査・見学するテーマを設定し、それをもとに京都班別自主研修のモデルプランを作成した。複雑なルート設定やバス時刻の確認など、よりよい計画立案のためのスキルを身につけることができた。

3年では修学旅行を実施した。前年度作成したモデルプランを活かした京都班別調査を皮切りに、京都、神戸、奈良を回った。学習内容は旅行記という形でまとめた。2泊3日の旅行を通して、現代に残る日本独自の文化、伝統に直接ふれ、金沢との比較を多角的に行って、考察を深めることができた。



### Ⅴ期 世界を知ろう

金沢の姉妹都市を調べることを通して、国際社会の中での金沢の役割を考えた。また、この学習をふまえ、日本と世界のつながりや交流の現状から、金沢を世界に発信する方法を考え、新聞を作成して発表した。これからの日本が世界に向けてできることやなすべきことなどについて考えることができた。

### Ⅵ期 社会とともに

3年間のITの学習から各自が課題を見つけ、グループごとに、卒業研究を行った。これまで学んだ研究方法を活かして、さまざまな視点からテーマを決めて取り組んだ。研究成果はパワーポイントでまとめ、学級発表、学年発表を行った。学年発表は授業参観として行い、多数の保護者に来校・参観していただいた。



## 2 成果と課題

### (1) ユネスコスクールのテーマについて

さまざまな体験活動や探究活動、講演会を通して、学習テーマと自分との関係をより深くとらえることができた。特に3年の研究発表では金沢観光の振興や環境破壊など、社会的な問題を身近なものとしてとらえており、設定した課題についての情報をまとめる作業にとどまらず、自らの考えを提言するなど、社会を構成する一員としての自覚の高まりが見られた。

### (2) カリキュラムの作成上の工夫等について

6期それぞれのテーマをより深く探究するために、言語活動や体験活動を積極的に取り入れることで、他者とのつながりや地域とのつながりの中で学び、多様な価値観を育むことができた。生徒は多くの課題解決をしていく中で、さまざまなスキルを身につけることができた。その結果、コミュニケーション力や資料を分析し活用する力、学習成果を効果的に表現する力等の向上が見られた。

### (3) 他校への情報の発信、ネットワークづくりについて

情報の発信という面では文化祭での展示や発表、保護者を招いての学年発表会など、地域に向けての情報の発信を主とした。また、校外学習等をデジタルカメラや動画で電子データという形で保存・編集し、まとめや発表会で活用した。今後はIT機器を活用した他校との連携も行っていきたい。